

重層的支援体制整備事業を契機とした相談支援等の強化に向けた検討状況について

区では、重層的支援体制整備事業を契機として、相談支援等の強化を図るため、「すこやか福祉センターの基幹機能の強化」及び「アウトリーチチームの体制強化・発展」について検討を進めているところであり、以下のとおり検討状況について報告する。

1 すこやか福祉センターの基幹機能の強化

別紙のとおり

2 アウトリーチチームの体制強化・発展

重層的支援体制を強化し、区民の複雑化・複合化した生活課題の解決や支援が必要な全ての人に必要なサービス等を提供していくためには、個別相談支援及び地域社会資源・ネットワークの強化を一体的に進め、潜在的ニーズ・課題の発見につなげるアウトリーチ型の支援が重要である。

現状の区民活動センター及びすこやか福祉センター職員により構成しているアウトリーチチームの活動においては、ケースの増加や継続的な支援の必要性から個別相談支援への対応が主となっている。しかし、今後を見据えると、区民の複雑化・複合化した生活課題に対し、現行チームによる対応では継続性及び質の確保に課題があると捉えている。こうした課題を踏まえ、区では、アウトリーチ型の支援の強化・発展に向け、組織・職員の役割及び人材育成の側面から総合的に検討を進めている。

3 今後の予定

令和4年12月(第4回定例会)	検討状況の報告
令和5年1月～	職員の人材育成の強化
令和5年4月～	すこやか福祉センター基幹機能の強化等による 区民サービスの充実等、継続的な見直し・改善

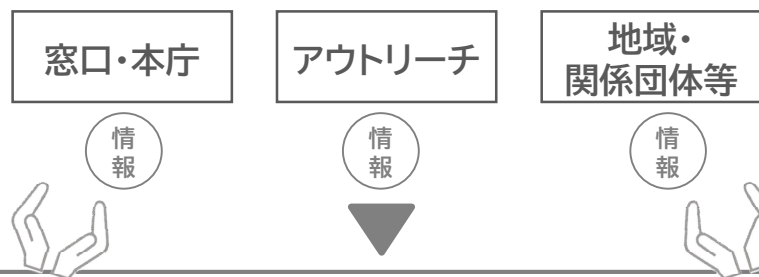
1 すこやか福祉センター基幹機能強化の視点

基幹機能の強化に向けて、次の点を一体的に推進

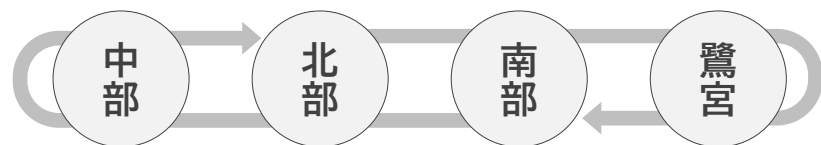
- ✓ コントロール機能の設置によるサービスの平準化、質の確保
- ✓ 企画調整機能の集約による効果的な事業の構築・発展
- ✓ 庶務・事務の一元管理による事務・事業の効率化
- ✓ 相談や困難事例等の情報集約及びケース分析、情報連携、新たなサービス・社会資源の創出
- ✓ 計画的な人材育成・人材マネジメントによる持続可能な相談支援体制の構築

2 基幹機能の強化に向けた体制イメージ

支援が必要な人・生活課題を抱える人



平準化 ▶ すこやか福祉センター



質の確保 ▶

報告・相談・改善提案 ↓ ↑ 企画調整、コントロール機能

基幹機能
(地域包括ケア推進課)



すこやか福祉センター

- 個人・世帯の相談、コーディネート、ケースワーク
 - └ 属性や世代を問わない相談、生活課題の整理・アセスメント、支援機関や社会資源へのコーディネート
 - └ 支援に結びついていない・既存のサービスでは対応できない人へのケースワーク、アウトリーチ型支援
 - └ 関係機関とのケース調整
(地域ケア会議及び地域ケア個別会議の運営など)
 - └ 講座・事業の実施、地域保健福祉事業への協力

基幹機能 (地域包括ケア推進課)

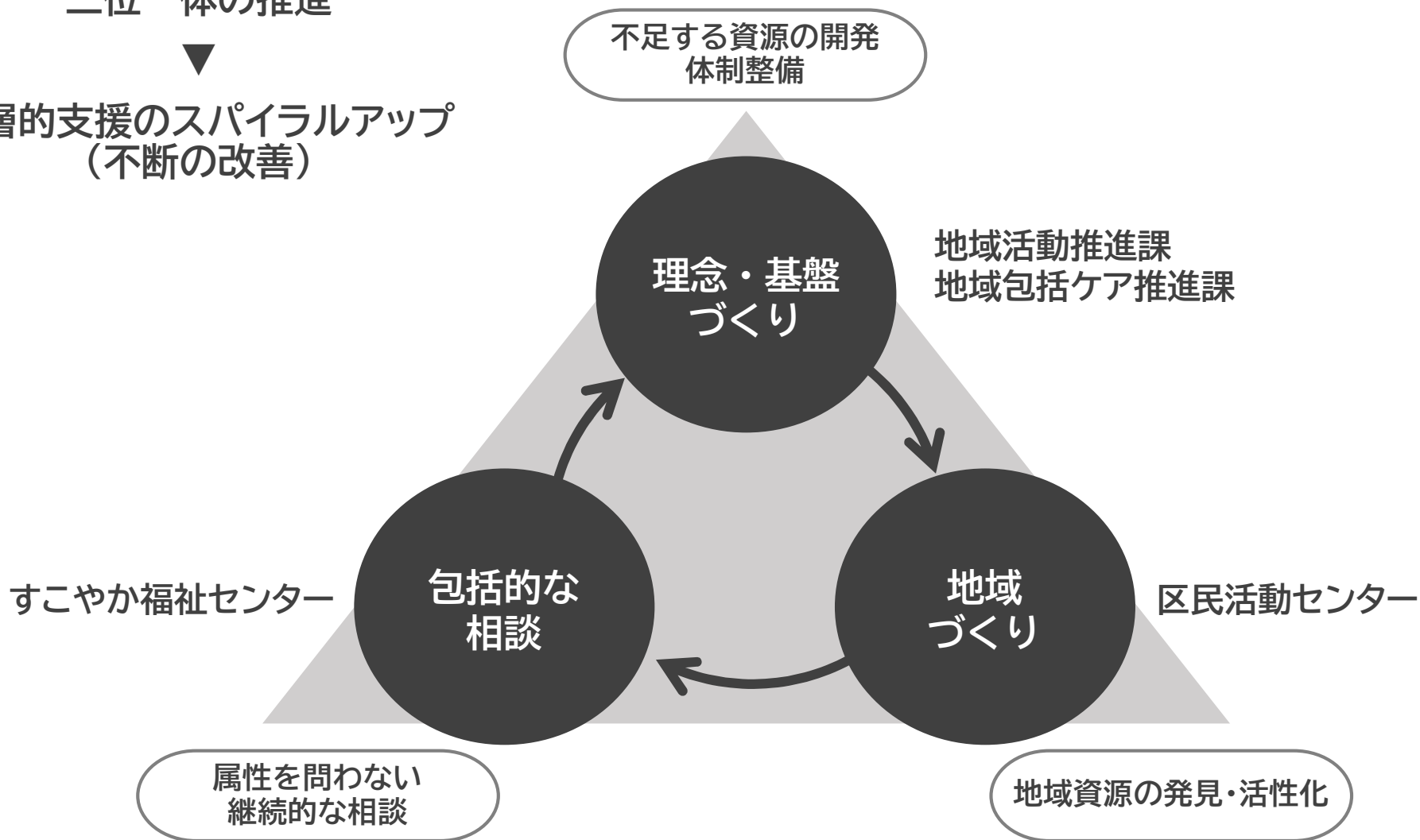
- 各所のマネジメント、全庁との調整
 - └ トータルケア、アウトリーチ、地域保健福祉、システム活用、その他各種事業の企画調整
 - └ 相談・不足する社会資源などの情報集約、困難ケースへの後方支援(法律・医療等の専門相談)
 - └ 人材育成・人材マネジメント
 - └ 庶務・事務の一元管理、その他関連部との調整

3 重層的支援体制の推進

三位一体の推進



重層的支援のスパイラルアップ
(不断の改善)



4 重層的支援体制の推進に向けた検討状況

	内容
包括的な相談	<ul style="list-style-type: none">○ 個別相談支援及び地域社会資源・ネットワークの強化に向けたアウトリーチ型の支援の強化・発展○ 相談支援、コーディネート及び伴走型支援の強化に向けた人材育成プログラムの実施○ ひきこもりやヤングケアラーなど新たな課題に対応する事業の構築
地域づくり	<ul style="list-style-type: none">○ 地域活動団体を支える中間支援組織(社会福祉協議会や区民活動センター運営委員会)及び区職員との連携・交流機会の創出○ アプリケーションを活用した地域団体の活動情報の発信の強化○ エリア・領域ごとの地域団体の活動状況の把握・分析
理念・基盤づくり	<ul style="list-style-type: none">○ 支援を必要とする人や担い手などそれぞれに寄り添った効果的な広報○ 支援が必要な人や社会資源の情報の共有・連携○ 産官学協働(コンソーシアム)による基盤づくり